

スポーツ産業界でのキャリア形成のための SCO-OP
(Sporting CO-Operative Program)に求められる教育的インパクト

川 西 正 志
鹿屋体育大学 教授



要 約

本発表は、スポーツ産業界でのキャリア形成のための SCO-OP (Sporting CO-Operative Program) の教育的インパクトと有効性を検討することを目的としている。本発表では、以下の論点について具体的な資料をもとに検討を行う。すなわち、1. 現在のスポーツ産業界の就職マーケットのトレンドについて諸資料のレビューから求められる人材像、2. 本学卒業生の調査から、キャリア形成への教育的インパクトとしての大学での授業科目や SIP (Sporting Internship Program) のインパクトファクター、さらには、3. SCO-OP の目指すべき教育的インパクトと人材育成への課題について明らかにする。その結果、急変する現代のスポーツ産業界での業種間のボーダレス化、多様化、高度化に対応できる実践的な現場での総合的なマネジメント能力の育成が、キャリア形成の観点からも重要課題として上げられる。そのため、これまでの2週間を単位とした SIP から、より長期にわたる SCO-OP への有効性が期待されるものの、産業界と連携した実習プログラムの開発が必要不可欠な条件である。